

令和
3年度

橋梁技術発表会

及び 講演会

参加費
無料定員
90名申込
先着順

コロナ対策を考慮して開催いたします。定員変更の可能性があります。
新型コロナウィルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

技術発表	13:00~13:10	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 会長 高田 和彦
	13:10~13:50	① 製作・溶接・防食に関する研究 ～製作小委員会における最近の活動報告～	製作小委員会
	13:50~14:00	休憩	
	14:00~14:40	② 著名橋の補修・補強事例 ～歴史的価値を守りながら鋼橋を後世に残す～	保全委員会
	14:40~14:50	休憩	
特別講演	14:50~15:50	建設業における 最近の話題について	
		国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術調整管理官 竹下 卓宏	
	15:50~16:00	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 奥村 恭司

日時
令和3年 11月5日(金)
13:00~16:00

開催地区

- 東京地区: 10月 1日(金)
 - 九州地区: 11月 5日(金)
 - 大阪地区: 10月13日(水)
 - 東北地区: 11月10日(水)
 - 北海道地区: 10月29日(金)
 - 中部地区: 11月19日(金)
- (6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布

論文及びPPTのpdfは事前にWebサイトに掲載致しますので、
必要に応じ出し持参願います。

[アクセス]



- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- 天神バスセンターから徒歩3分

[来場時のお願い]

- 来場時に検温および体調の確認をさせて頂きます。
- 来場時には、マスクの着用をお願い致します。
- 体調不良の場合は、来場を自粛して頂きます様、お願い致します。

① 製作・溶接・防食に関する研究

製作小委員会は、製作部会、防食部会、耐候性鋼橋梁部会の3部会から構成されます。

製作部会では、裏波ビードを有する片面溶接の疲労強度など、溶接を主体とした研究を行っており、昨年度から組立溶接の規定緩和に向けた研究を行っています。また、i-Constructionへの取り組みとして、鋼材検査証明書(ミルシート)の電子化の検討を行っています。防食部会では、防食の観点からの鋼構造物の耐久性向上を目的とした研究を行っています。腐食環境の厳しい沖縄県に位置する暴露試験場において、橋梁上部工を模した大型試験枠を用いて新規塗料および金属溶射の比較試験、部材面取りの要否確認試験など実施しています。耐候性鋼橋梁部会では、新しい技術を用いた既設耐候性鋼橋梁のさびの評価方法について研究しており、最近では、点検時の外観評価から補修の必要性を判断する方法を検討しました。また、耐候性鋼用表面処理剤を塗布した鋼材の外観の経年変化は製品によって異なるため、暴露試験により経年変化の特徴を確認しています。

本発表会では、製作小委員会3部会の研究成果や途中経過の概略について発表します。

② 著名橋の補修・補強事例

私たちの身の回りには様々な鋼橋が存在します。その中には昔からその場所にあり、生活やその町の風景に溶け込み、なくてはならない存在となっている鋼橋も少なくありません。そこで、町の歴史や文化を象徴するかのように存在する著名橋を対象として、長寿橋梁ならではの特徴を踏まえながら、その価値を損なわずに後世へと残すことができるよう工夫しながら行われた補修・補強の事例を紹介します。なお、対象橋梁は比較的近年に補修・補強が行われたもので、技術的な資料が存在するものとします。

特別講演会 講演者紹介

国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術調整管理官

竹下 卓宏

講演テーマ

建設業における最近の話題について

【略歴】

昭和62年度 建設省 入省
平成26年度 国土交通省 道路局
環境安全課 課長補佐
平成29年度 国土交通省 九州地方整備局
北九州国道事務所長
平成31年度 国土交通省 九州地方整備局
企画部 技術調整管理官

【主な担当】

道路分野(道路計画、設計等)

【講演概要】

建設産業は、地域のインフラの整備・管理の担い手であるとともに、災害時の応急復旧などに真っ先に駆けつけるなど、地域の安全・安心を担う守り手として、欠かすことのできない存在である。

しかしながら、建設産業を取り巻く現状の労働環境は他産業に比べて厳しく、若手が入職・定着しづらい状況のため、建設産業が担っている役割を持続していくことが喫緊の課題となっている。

このような背景を踏まえて、国土交通省が推進している「働き方改革」や「生産性の向上」、「建設DX」等に関する取り組みについて紹介する。

令和3年度

橋梁術発表会

九州地区

11月5日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。